



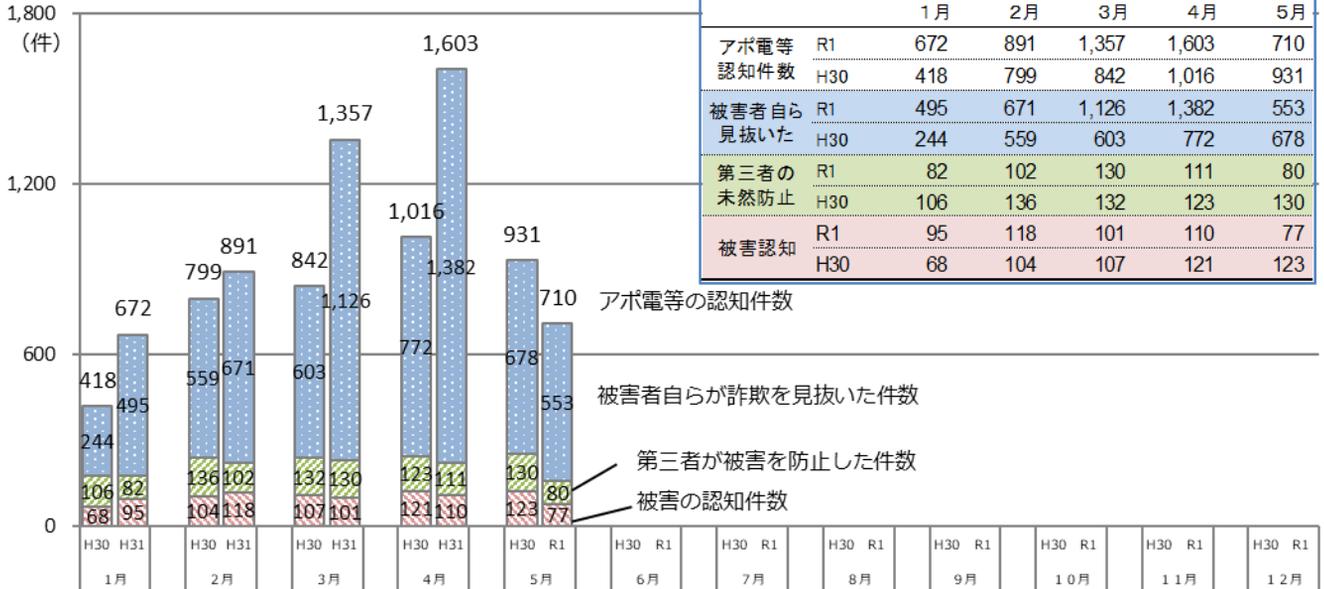
安まち通信



大阪府内の特殊詐欺認知状況【5月末】

アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のことです。



	1月	2月	3月	4月	5月
アポ電等認知件数	R1 672 H30 418	R1 891 H30 799	R1 1,357 H30 842	R1 1,603 H30 1,016	R1 710 H30 931
被害者自らが詐欺を見抜いた件数	R1 495 H30 244	R1 671 H30 559	R1 1,126 H30 603	R1 1,382 H30 772	R1 553 H30 678
第三者の未然防止	R1 82 H30 106	R1 102 H30 136	R1 130 H30 132	R1 111 H30 123	R1 80 H30 130
被害認知	R1 95 H30 68	R1 118 H30 104	R1 101 H30 107	R1 110 H30 121	R1 77 H30 123

5月のアポ電等の認知件数は、4月から約55.7%（893件）減少し、710件でした。そのうち約77.9%（553件）は被害者自らが詐欺と気づき、約11.3%（80件）は家族・金融機関・コンビニなどの第三者が被害を防いでおり、被害として認知されたのは全体の約10.8%（77件）でした。

5月末のアポ電等の累計は、昨年と比べて1,227件増加しています。

特殊詐欺の被害認知状況

特殊詐欺の認知件数と被害金額

	R1 5月末	H30 5月末	増減
認知件数	501	523	-22
被害金額(千円)	858,826	1,462,590	-603,764

【5月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをだまし取る手口
- 2 息子や孫などを騙り、現金をだまし取る手口
- 3 有料サイト管理者やアマゾン、楽天などの実在企業を騙り、「利用料金の確認が取れない」とのショートメッセージを送りつけ、電子マネーを買わせる手口

※ 認知件数の多い順

キャッシュカードすり替え窃盗の被害認知状況

キャッシュカードすり替え窃盗の認知件数と被害金額

	R1 5月末	H30 5月末	増減
認知件数	113	56	+57
被害金額(千円)	132,735	72,595	+60,140

【5月中に認知件数が多かった手口】

- 1 警察官・金融庁などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 2 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口

※ 認知件数の多い順

- 5月末現在、特殊詐欺の認知件数は昨年より減少（-22件）しているものの、キャッシュカードをすり替えて盗む窃盗が増加（+57件）しています。
- 手口別で見ると、役所や銀行を騙り、「還付金の手続きのためキャッシュカードの交換が必要」と述べて高齢者を訪問し、キャッシュカードをだまし取る（すり替えて盗む）手口が最多となっています。
- 2月以降、女の犯人が娘を騙るアポ電が増えていました。（5月末時点で50件認知）また、銀行員や法律事務所の事務員などを装い、被害者から現金をだまし取る女の犯人（受け子）もいますので十分にご注意ください。